

町の未来像を語り合う



小学生との「ふるさと懇談会」

議会では、町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聴く機会の場として、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しています。町内5小学校の5・6年生、町PTA連合会の皆さんと意見交換を行いましたので、その内容をお知らせします。

自分の思いを積極的に発言

2月17日、葛巻小学校体育館で若い世代の声や思いを聴くため、町内5小学校の5・6年生32人と「ふるさと懇談会」を開催しました。

各校から学校活動の紹介や町に期待する未来像を発表し合い、出席した議員7人と将来の町づくりについて、意見を交換しました。

各校の発表では、人口増加につながる施策の提



発表に入る前のアイスブレイク

緊張をほぐして懇談会スタート

案や自然を守り育てる活動の必要性など、活発な意見や考えが出ました。

児童の発表や議員との意見交換の進行は、町教育委員会の西館修司先生が努めました。

懇談会を和やかな雰囲気を進めるために、児童の緊張をほぐすアイスブレイク(※)でスタート。

(※)アイスブレイク
初対面の人同士が出会った時、緊張をときほぐすための手法

簡単なゲームや先生の問いかけに答えることで、児童同士がコミュニケーションをとることができました。児童の緊張もほぐれ、笑顔がこぼれる中、懇談会を進めました。

自然が豊かで人が優しい町

始めに自己紹介とともに、児童が思っている町のイメージや良いと思っている点などを発表。

多くの児童から、「自然が豊かな町」、「災害が少ない」、「優しい人が多い」などの声がありました。聞かれたことに対して、高学年らしく、すぐに答えていました。

各学校の発表

各学校から、地域や学校で取り組んできたこと、自慢できること、「町が将来こんなふうになればいいな」という夢などを発表。勉強時間もあつた中、学校の代表として準備に取り組みしました。各校が発表した主な内容は次のとおりです。

親子間の交流で町の良さを実感

親子一緒にしながら実感できる取り組みを行いました。

昨年7月に親子レクを開催し、鍋倉農園で山ぶどうの剪定(せんてい)作業と町の名産のワインづくりの活動を行いました。このワインは成人したときに開ける予定です。くずまき高原牧場の冬まつりの綱引き大会にも参加して、葛巻町の冬を十分に満喫しました。親子レクを通じて町の良さを

親子一緒にしながら実感できる取り組みを行いました。私たちは町の良さを活かした取り組みを大切にしたり、自分たちの良さを活かしながら、人のために行動したりすることを大切にしてきました。

森の大切さを学び自然を守る行動に

私たちは自然や川、森林の勉強をしながら自然保護活動を行い、森の楽しさや大切さを学んでいます。

毎年、学校の裏を流れる土谷川のカワシンジュガイなどの水生生物について、小屋瀬中学校の皆さんと川の様子を調査しています。カワシンジュガイは年々減っているのです。大切にしていきたいです。使った油を川に流



「これからも葛巻の自然を守り育てる」と力強く発表した、小屋瀬小の皆さん

してしまうと川の水が汚れて、生物が住めなくなります。私たちは使った油を利用して「エコ石けん」を作って使用し、川を汚さない活動をしています。自分たちだけではなく、学校行事に来た方や交流をしている野田村の方々にも差し上げて、たくさんの方に使ってもらう努力をしています。

葛巻の森林は宝物です。私たちにたくさんのもので与えてくれます。森の手入れをしていくことで、私たちの生活を守って

販売体験学習で被災地を応援

れます。これからも葛巻の宝である自然を守り、育てる活動を続けます。

吉ヶ沢小学校の大切な活動に、「くずまき高原牧場まつり」での販売体験学習があります。イベントへの参加は、東日本大震災で被災した田野畑小学校に少しでも多くの義援金を贈りたい思いから行っています。もち米

吉ヶ沢小学校

**大型店や図書館
建設計画を提案**

【江刈小学校】

や藍染めのハンカチ、Tシャツなどを販売しています。もち米は地域の方の田んぼを借りて、米作りを体験し収穫しています。今後、地区や町のために取り組んでいきたいことは、牧場まつりに参加し続けることです。地域の方々に支えてもらいながら、これからも葛巻の恵みを体験し発見していきたいです。そして、牧場まつりに来た人に、自然豊かな葛巻町をアピールしたいです。



吉ヶ沢小学校は全校5人で、高学年の5年生1人が発表しました

全校児童にアンケートを行い、葛巻町の良い点悪い点を聞きました。良い点は、牛が多い、自然が豊かという意見が多く、悪い点は、買い物ができるところが少ないなどの意見が出ました。

葛巻にあったら良いと思うものを聞いたところ、ショッピングモールが一番多く、そのほか本屋、大きな図書館などでした。私たちは「笑顔あふれる葛巻町」をテーマに二つの建設計画を考えました。一つ目は、ショッピングモールです。大型でも、買い物ができて笑顔があふれると考えました。町内のお店も出店すれば、葛巻らしさも入っ



ショッピングモールと大きな図書館の建設計画を発表した江刈小の皆さん

産直店を増加へ

【五日市小学校】

た店になると思います。二つ目は、大きな図書館です。図書館はありますが本の数が少なく、ゆったりと座って読める場所がありません。図書館に子供たちが興味を持つ本を置き、勉強できる学習ルームや、小さな子供が休憩できる部屋などあれば、多くの方が来ると思います。

総合的な学習の時間で、葛巻町は災害が少ない、自然が豊かなど、町の良さを再確認することができました。一方で、江刈地区は全体的にお店が少ないと感じる意見がありました。そうすると、江刈の人たちは便利な場所へ行ってしまう、人が減って店を増やすことは難しいと考えました。そこで、地域で採れた新鮮な野菜や牛乳などの



産直店を作って、人口増につなげる提案をした五日市小の皆さん

**児童が意見交換
町の将来を語る**

各校の発表を聞いた児童は、お互いに意見を交換。葛巻がもっと魅力的な町になるためにどんな工夫が必要か話し合いました。

**酪農の課題解決
議員が児童に聴く**

近い将来の、自分たちが暮らしている葛巻町の夢を語り合いました。

児童の発表を聞いた議員が、児童と意見を交換。鈴木満議員が、将来酪農家を減少していますが、酪農家を増やして行くために、どんな取り組みが必要ですか」と質問。児童からは「搾乳する機械や餌を運ぶ機械を導入して、酪農を会社として経営していけば仕事が楽になるし、酪農家の人口も増えると思います。」と力強く話してくれました。



児童と議員らが懇談しながらいただく給食

「葛巻の木を使った、ホールを造って、その中に地産地消のレストランや図書館、本屋やアスレチックなどがあるといいです」、「お年寄りに優しいバスが必要」などの声がありました。



鈴木満議員の質問に応える児童

姉帯春治議員は、「町の基幹産業に、山林を守る林業があります。木を植えて間伐をして伐採して収入を得ています。林業にも、目を向けて欲しいです」と訴えました。

懇談会の終わりに、中崎議長が「皆さん、大変素晴らしい活動をしていて感心しました。皆さんの意見を聞いて、子供たちが町に増える取り組みが必要だと感じました。皆さんから出た意見は、実現できるように頑張っていきたいと思えます。これからも、いろいろな意見を、どんどん伝えてください」と挨拶。懇談会終了後は、児童と議員らが給食と一緒に、さらに懇談を深めました。

**PTAとの
懇談会**

**子育て世代の声
町政に多くの提言**

2月17日、総合センターで子育て世代の皆さんの声を聴くため、PTA連合会（会長・小屋瀬中学校PTA山本一英）と「ふるさと懇談会」を開催しました。役員の皆さんら、17人の参加がありました。

最初に議会の活動状況を説明し、皆さんから町政に対する質問や意見を聴きました。「葛巻高校のクラス数の減少の話がありますが、

高校の存続とクラス数を維持して欲しい」、「子供たちの家庭環境の影響で大学進学が閉ざされることは町の損失になるので、安心して教育が受けられる支援をお願いします」など、子育てをしている皆さんから率直な意見が多く出されました。

議会では、皆さんの声を参考に、今後の町づくりを考えていきたいと思っています。



参加者全員から声を聴き、教育や町づくりに対する意見を交換